

環境活動レポート

【 運用期間:2015年7月1日～2016年6月30日 】



発行:2016年 8月 1日

株式会社 ヤギシ

目 次

I. 組織の概要	・・・	P 2,3
II. 実施体制	・・・	P 4
III. 環境方針	・・・	P 5
IV. 環境目標	・・・	P 6
V. 環境活動計画	・・・	P 7,8
VI. 環境目標の実績	・・・	P 9
VII. 環境活動計画の取り組み結果とその評価 次年度の取り組み内容	・・・	P 10
IX. 環境関連法規等の順守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無	・・・	P 11
X. 代表者による総合評価と見直し結果	・・・	P 12
XI. 次年度環境目標	・・・	P 16

【その他添付資料】

- ・環境上の緊急対策
- ・環境コミュニケーション受付表
- ・問題の是正及び予防処置
- ・楽寿園清掃活動

I 組織の概要

1、事業所名及び代表者名

株式会社 ヤギシ
代表取締役： 矢岸 泰男

2、所在地

静岡県三島市新谷70-3

3、会社履歴

法人設立 1950年6月
資本金 1000万円
事業年度 当年7月～翌年6月

1950年 6月:設立 古物・金属商

1988年 9月:三島市一般廃棄物事業参入・新事業所設立・産業廃棄物収集・運搬及び中間処理参入

2008年 4月:電子マニユフェスト導入

2015年 5月:エコアクション21導入

4、環境管理の責任者氏名、連絡先

環境管理責任者： 代表取締役 矢岸泰男

連絡先 TEL: 055-972-2525
FAX: 055-972-2528
E-mail: yagishi@air.ocn.ne.jp

5、事業活動

- ・一般廃棄物の収集・運搬
- ・産業廃棄物収集・運搬及び処分

種別	許可番号	許可年月日	有効年月日	許可の内容
三島市一般廃棄物収集運搬業	第26317	H28.4.1	H30.3.31	
清水町一般廃棄物収集運搬業	第4号	H28.4.1	H30.3.31	
静岡県産業廃棄物収集運搬業	第02201018773号	H24.1.20	H29.1.19	※1
静岡県特別管理産業廃棄物収集運搬業	第02251018773号	H28.7.2	H33.7.1	金属くず・廃プラスチック
静岡県産業廃棄物処分量(中間処理)	第02221018773号	H26.6.8	H31.6.7	感染性廃棄物

※1 廃プラ・金属くず・ガラス・コンクリート及び陶磁器・がれき類・燃え殻・汚泥・廃油・紙くず・木くず・ばいじん

6、事業の規模(事業年度:当年7月～翌年6月)

		単位	24年	25年	26年	27年
売上高		百万円	351	396	366	246
処理実績	一般収集・運搬	t	485	481	465	509
	産廃収集・運搬	t		3680	519	635
	中間処理	t		167	163	290
従業員数		人	17	17	15	13
延床面積		m ²	460	460	460	460

処理実績【2015年度処理実績(4月～翌年3月)】

処理方法等	廃棄物等種類		処理量(t)
収集運搬	一般廃棄物		509
	産業廃棄物	ガラスくず・コンクリートく	9
		金属くず	239
		木くず	208
		廃プラスチック類	51
		その他	128
処分	中間処理	廃プラスチック類	51
		金属くず	239

7、認証・登録の対象範囲

全組織及び全事業活動
別記「実施体制図」参照

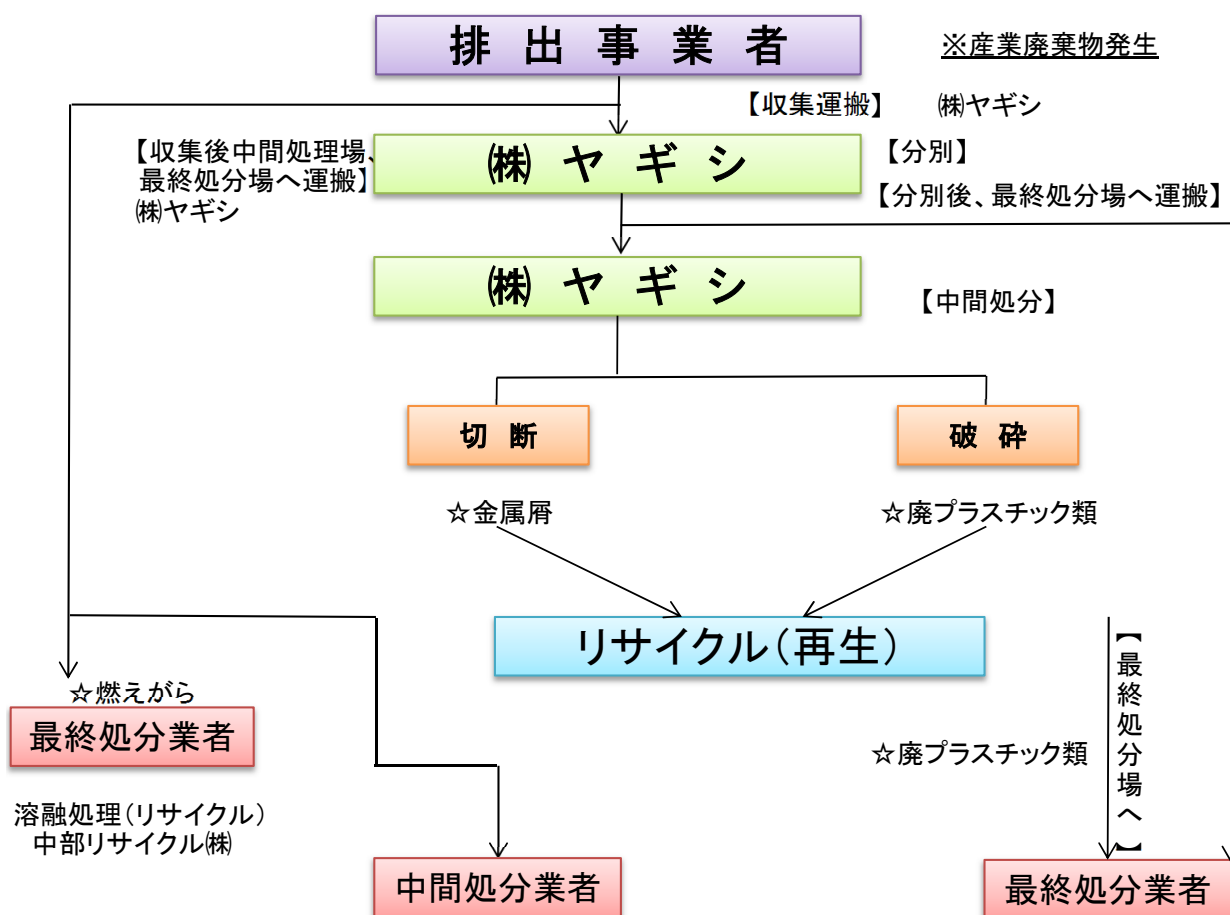
8、保有設備

パッカー車:2台
平ボディー車: 2t車:2台 4t車:3台 8t車:3台 10t車:1台
フォークリフト:3台

9、施設等の状況(産業廃棄物処分業許可の内容)

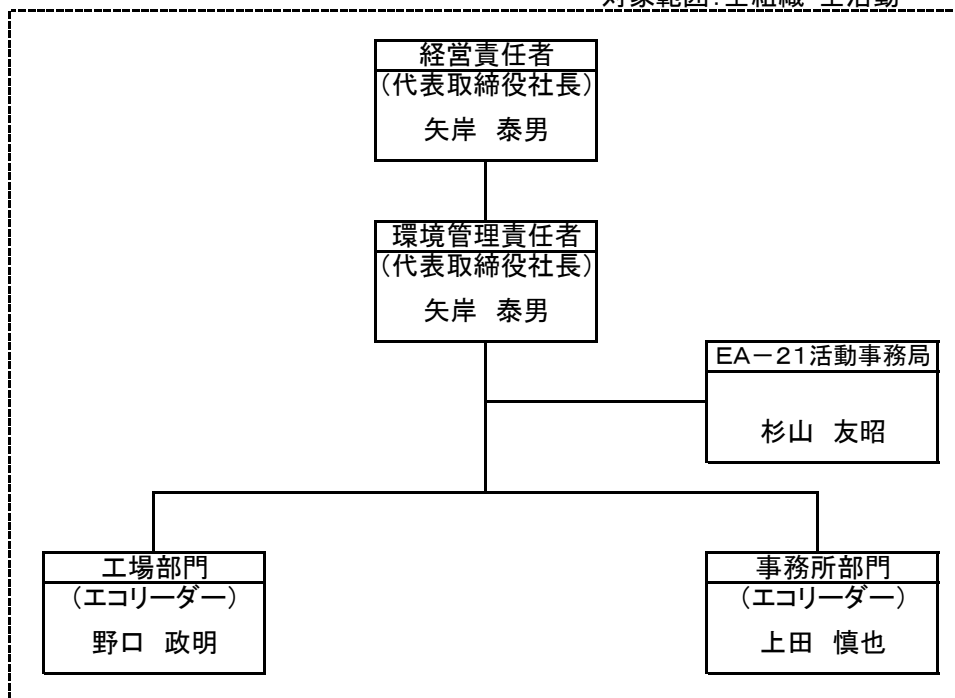
切断施設 金属屑 44.80t/日(8時間)
破碎施設 廃プラ 2.30t/日(8時間)

処理方式、処理工程図



II 実施体制

対象範囲:全組織・全活動



<環境管理組織における機能>

経営責任者

- ①環境経営全般に対する責任と権限
- ②環境方針の作成と社員への周知
- ③全体の評価と見直し
- ④実施体制の構築

環境管理責任者

- ①環境経営活動の推進
- ②環境目標及び環境計画の作成
- ③環境経営推進会議の実施
- ④経営者への進捗報告

EA-21活動事務局

- ①各部門のデータのまとめ
- ②活動計画の予実績管理
- ③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④環境管理責任者補佐
- ⑤法規制最新版管理
- ⑥文書・記録の管理

各部門

- ①環境計画の実施
- ②月別部門データの集計
- ③問題点の把握と是正の実施
- ④推進会議の出席
- ⑤従業員教育

Ⅲ 環境方針

株式会社 ヤギシ 環境方針

[環境経営理念]

株式会社ヤギシは、自然豊かな富士西麓に位置し、美しい自然、さらには地球環境を守るために、地域社会に配慮した収集・運搬及び中間処分業に努め、循環社会形成に取り組む企業を目指します。

[基本方針]

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減すると共に、環境に配慮した継続的な活動を展開いたします。

1. 全員で環境保全活動を展開し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減に努めます
 - 1) 電気、軽油、ガソリンの省エネルギー活動の推進
 - 2) 自社及び収集・運搬廃棄物のリサイクル向上に努めます
 - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます
2. 環境に配慮した物品の調達と地域社会への取組
 - 1) 事務用品や用度品のグリーン購入に努めます
 - 2) 廃棄物排出事業者、住民に対して分別排出の指導・支援に努めます。
3. 環境関連法規制等の遵守
環境関連法規制及びその他の規制を遵守致します
4. 環境コミュニケーションの積極的实施
社内及び社外に、環境方針・環境情報を公開します。

社内においては、全従業員に、この環境方針及び必要事項を周知し、全社員参画による取組を展開します。

制定日 2014年 10月1日
株式会社 ヤギシ
代表取締役社長 矢岸 泰男 印

IV 環境目標

2015年度環境負荷の実績

項目		単位	2015年度 通年
二酸化炭素		kg-CO ₂	178,525
内訳	購入電力	kWh	59,971
	ガソリン	L	6,226
	軽油	L	50,118
	LPG	kg	93
	灯油	L	312
受託した産業 廃棄物 処理量	収集運搬量	t	635
	中間処理量	t	290
	再資源化量	t	253
	再資源化率	%	87
事業所廃棄物量		t	0.100
総排水量		m ³	664

短期・中期環境目標

購入電力二酸化炭素排出係数 東京電力(H2011年度)の「0.525kg-CO₂/kWh」

項目	単位	基準年度 (2013年度)	2014年度	2015年度	2016年度	
二酸化炭素	kg-CO ₂	234,614	-1%	-2%	-3%	
内訳	購入電力	kWh	61,010	-1%	-2%	-3%
	ガソリン	L	16,077	-1%	-2%	-3%
	軽油	L	60,638	-1%	-2%	-3%
	LPG	kg	696	-1%	-2%	-3%
	灯油	L	1,619	-1%	-2%	-3%
産業廃棄物処理量	t	167.00	+3%	+5%	+10%	
産業廃棄物リサイクル率	%	66%	70%	75%	80%	
事業所一般廃棄物量	t	0.36	-2%	-3%	-5%	
水使用量	m ³	789	-1%	-2%	-3%	
グリーン購入の推進			調達時はグリーン購入に配慮する			
排出事業者への分別指導	件		30	40	50	

* グリーン購入の活動は定性目標とする

V 環境活動計画

目的	区分	項目	責任者	活動項目
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	野口	①消灯の徹底(1回/週チェックする)
				②高効率照明機器の導入(LED化5台)
		空調	野口	①温度設定夏28℃ 冬20℃
				②フィルター定期清掃
				③使用していない部屋の空調停止
				④遮光対策
		設備	野口	①停止時メイン電源OFF
				④自動販売機の省エネ対策
	ガソリン・ 軽油	重機類 フォーク	杉山友	①エコドライブ
				②日常・定期点検の実施
		乗用車 トラック	杉山友	①エコドライブ
				②日常・定期点検の実施
③省エネ車の導入				
④排ガス対応車の導入				
LPG	湯沸器	矢岸恵	①使用時間規制	

廃棄物のリサイクル	事務所		矢岸恵	①コピー用紙の両面使用
				②封筒の再利用
				③集約化購買
				④3Rの実践
				⑤廃棄物の分別とリサイクル
産業廃棄物 一般廃棄物			上田	①古紙、カン、ビン、ペットボトル等の分別化
				②分別ルートの新規開拓
				③新規顧客の開拓
節水	上水		上田	①節水表示
				②ストップガンの取り付け
				③節水こまの取り付け
グリーン購入	事務用品		矢岸恵	①環境ラベル対応品の購入
				②何回も使える物購入
	用具・器具		矢岸恵	①環境ラベル登録品の購入
環境に配慮した自社の取り組み			上田	①取引先への教育

VI 環境目標の実績

運用期間(7月～6月)実績

項目	単位	2013年基準	2015年目標	2015年実績	評価	
		7月～6月	7月～6月	7月～6月		
二酸化炭素	kg-CO ₂	234,614	229,922	178,525	○	
内訳	購入電力	kWh	61,010	59,789	59,971	○
	ガソリン	L	16,007	15,755	6,226	○
	軽油	L	60,638	59,425	50,118	○
	LPG	kg	696	682	93	○
	灯油	L	1,619	1,586	312	○
産業廃棄物処理量	t	167	175	290	○	
産業廃棄物リサイクル率	%	66%	80%	87%	○	
事業所排出廃棄物量	t	0	0	0	○	
水使用量	m ³	789	773	664	○	
事務用品のグリーン購入比率	%	未把握	現状把握	現状把握	○	
グリーン購入の推進			配慮	再生紙購入	○	
排出事業者への分別指導			指導件数30社	指導件数30社	○	

* 二酸化炭素(ガソリン、軽油、LPG、灯油)、産業廃棄物リサイクル率、事業所排出廃棄物、水使用量、グリーン購入はほぼ計画通り取組をすすめられたため、目標達成

<原因分析・是正処理>

産業廃棄物処理量	原因分析	
	是正処置	

Ⅶ 環境活動計画の取り組み結果とその評価 次年度の取り組み内容

目的	項目	活動項目	評価		今後(次年度)の取組
			評価	内容	内容
二酸化炭素の削減	照明	①消灯の徹底(1回/週チェックする)	○	徹底されている	継続実施
		②効率照明機器の導入(事務所LED化)	○	実施された	継続実施
	空調	①温度設定夏28℃ 冬20℃	○	表示、朝礼時説明	継続実施
		②フィルター定期清掃	○	3か月に1度実施	継続実施
		③使用していない部屋の空調停止	○	徹底されている	継続実施
		④遮光対策(夏場)	○	実施された	継続実施
	設備・他	①停止時メイン電源OFF	○	徹底されている	継続実施
	乗用車・トラック・他	①エコドライブ	○	エコドライブ講習	継続実施
		②日常・定期点検の実施	○	日常点検マンネリ化	継続実施
		③省エネ車の導入	○	1台	継続実施(購入時)
④排ガス対策車の導入		○	計画作成	継続実施(購入時)	
⑤ドライブレコーダーの導入				新規項目	
湯沸	①使用時間規制	○	使用時間張り紙	継続実施	

廃棄物のリサイクル	事業所排出物	①コピー用紙の両面使用	○ 裏紙使用	継続実施
		②封筒の再利用	○ 実施された	継続実施
		③集約化購買	○ 徹底されている	継続実施
		④3Rの実践	○ 徹底されている	継続実施
		⑤廃棄物の分別とリサイクル	○ 分別基準と実施	継続実施
産業廃棄物	①古紙、カン、ビン、ペットボトル等の分別化	○ 徹底されている	継続実施	
	②分別ルートの新規開拓	○	継続実施	
	③新規顧客の開拓	○ 3社開拓	継続実施	
節水	上水	①節水表示	○ 表示OK	継続実施
		②ストップガンの取り付け	○ 実施	
		③節水こまの取り付け	○ 実施	
グリーン購入	事務用品	①環境ラベル対応品の購入	○ 実態調査	継続実施
		②何回も使える物購入	○ ボールペン・他	継続実施
	備品	①環境ラベル登録品の購入	○ コピー用紙	継続実施
環境に配慮した自社の取り組み	①取引先への教育	○ 約90社に対して分別排出依頼	継続実施	

Ⅸ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

確認者 矢岸 泰男

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出事業所との委託契約	契約(書)の締結	2016/7/1
	マニフェストの管理	B2表、C2表、D票、E票の返却	2016/7/1
	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	2016/7/1
	マニフェストの保管	5年間	2016/7/1
	投棄禁止	不法投棄を行わない	2016/7/1
	廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	2016/7/1
	保管場所への掲示	60cm×60cm 以上掲示	2016/7/1
	マニフェストの年間集計と知事への報告 許可と許可書の更新	6月30日までに提出 5年間	2016/7/1 2016/7/1
静岡県産業廃棄物の適切な処理に関する条例	委託先の実地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	2016/7/1
三島市一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別排出		2016/7/1
	許可と許可書の更新	2年間	2016/7/1
騒音・振動規制法	特定施設の届出		2016/7/1
	基準値の遵守		
道路交通法	交通法規の遵守		2016/7/1
	点検の実施		
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫 他	2016/7/1
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	2016/7/1
環境基本法	一般的な自主努力		2016/7/1
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	2016/7/1
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	2016/7/1
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	2016/7/1
浄化槽法	浄化槽使用開始届け	現事業所移転時	2016/7/1
	保守点検の実施	4ヶ月に1度	
消防法	指定可燃物の届出	紙屑、プラスチック類	2016/7/1

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

X 代表者による全体評価と見直し結果

1・見直し関連情報	項目	確認：(必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書
2	環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しました。
3	環境活動計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組みます
4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 記録に記載いたしました。
5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙にて報告するようにします
7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙報告の通り
8	その他()	<input type="checkbox"/>

2・代表者による全体評価・見直し指示	<p>節電活動の取組は全項目において達成できた。全体としてシステムの有効性、取組の適切性、妥当性は有りと判断できた。</p> <p>産業廃棄物の取り扱い及びリサイクル率の向上についても目標を達成した。今後もこれに満足することなく環境活動計画に取り組んでまいります。</p> <p>また、環境方針についての変更はありませんが、環境目標等は今年度の実績を基準に設定を直すよう指示しました。</p>		
	平成28年7月31日		株式会社 ヤギシ 代表取締役 矢岸 泰男
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	2 環境目標	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	今年度を基準に設定しなおす。
	3 環境活動計画	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	4 環境に関する組織	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	5 その他のシステム要素	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
6 その他(外部への対応)	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>		

環境上の緊急対策

〈緊急時対策〉

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。
更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン 1	廃プラスチック置場からの発火	自然発火	・置場の整理・整頓 ・消火器の設置
パターン 2	重機より作動油の漏えい	地震による破損	・吸着マットの設置 ・土嚢の設置 ・地震時の行動計画 確認

訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2016.1.22	廃プラスチックの火災	自然発火	・整理・整頓の確認 ・消火器を目立つようにする
参加者		全社員	
※評価と改善策 昨年に引き続いての2回目の訓練だったので冷静に消化訓練ができた。 去年は廃棄物が飛散していた周辺も、日常の清掃活動により飛散が少なかった。 やはり強風が頻繁にある為、日常の業務内でも迅速に対処できるよう社員に呼びかけた。			
訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2016.1.22	作業中の大地震	大地震の影響を受けての緊急訓練	・緊急時の分担を決める ・災害ごとに避難行動を明確にする
参加者		全社員	
※評価と改善策 この地域でも長年大地震が発生すると騒がれており、起こりうる災害を可能な限り想定し、実際に行動できるような訓練と役割分担を明確にしました。 連絡網の作成			

環境コミュニケーション受付表

作成・管理担当：

NO.	情報日	情報入手	情報種類	通報者	通報方法	住所		内容	回答の必要性	対応内容
						住所	連絡先			
1	/		対策・苦情		電話・メール ()				必要・不要	
2	/		対策・苦情		電話・メール ()				必要・不要	
3	/		対策・苦情		電話・メール ()				必要・不要	
4	/		対策・苦情		電話・メール ()				必要・不要	
5	/		対策・苦情		電話・メール ()				必要・不要	

問題の是正及び予防処置

記録日
担当者

	対象項目	原因	是正及び予防処置
1			
2			
3			
4			
5			

XI 次年度環境目標

2015年度環境負荷の実績

項目		単位	2015年度 通年
二酸化炭素		kg-CO ₂	178,525
内訳	購入電力	kWh	59,971
	ガソリン	L	6,226
	軽油	L	50,118
	LPG	kg	93
	灯油	L	312
受託した産業 廃棄物 処理量	収集運搬量	t	635
	中間処理量	t	290
	再資源化量	t	253
	再資源化率	%	87
事業所廃棄物量		t	0.100
総排水量		m ³	664

短期・中期環境目標

購入電力二酸化炭素排出係数 東京電力(H2011年度)の「0.525kg-CO₂/kWh」

項目		単位	基準年 度	2016年度	2017年度	2018年度
二酸化炭素		kg-CO ₂	178,525	-1%	-2%	-3%
内訳	購入電力	kWh	59,971	-1%	-2%	-3%
	ガソリン	L	6,226	-1%	-2%	-3%
	軽油	L	50,118	-1%	-2%	-3%
	LPG	kg	93	-1%	-2%	-3%
	灯油	L	312	-1%	-2%	-3%
産業廃棄物処理量		t	290.00	+3%	+5%	+10%
産業廃棄物リサイクル率		%	87%	88%	89%	90%
事業所一般廃棄物量		t	0.10	-2%	-3%	-5%
水使用量		m ³	664	-1%	-2%	-3%
グリーン購入の推進				調達時はグリーン購入に配慮する		
排出事業者への分別指導		件		30	40	50

*グリーン購入の活動は定性目標とする

XII 楽寿園の清掃活動

